

分野：⑬SDGs

(生物と地球環境)

環境アドバイザー

神山 裕則

対象

川口市立芝南小学校 (104人)
6年生

所要時間



3時間

場所

視聴覚室

実施時期

令和3年3月2日

概要

SDGsについて
ボルネオと日本との関係 (森林伐採・パームヤシ油など)プログラムの
ねらいSDGsの狙い
世界の地域と、日本人は、つながっていることを知る。
そして、できる活動を考えて、行動する。

プログラムの内容

1. 導入

SDGsのことについて、大まかに知る。
ラオスの子どもの話 (貧困・飢餓・教育など)

2. ボルネオと日本の関係

森林伐採・焼き畑農業・異常気象
パームヤシ畑・私たちとの関係 木を輸入 (オリンピック関連・
コンビニの商品の半分以上に、パームヤシ油が
入っていること。植物油としか書かれていない。

私が、していること

ラオスに、文具を届ける活動

ボルネオの土地を買って、植林活動の手助け

3. まとめ

自分ができること。→ 親に話す。友達と話す。エコな生活を送る。



受講者の反応

ここの子ども達は、生き物好きの子がいて、擬態したバッタや世界最大の花ラフレシアも知っていて、反応が良かった。自分が、この話から、何をすべきか発言した子もいた。